

海南市立黒江小学校のホームページへようこそ！

本校は、明治9年（1876年）9月9日に黒江尋常小学校として、黒江村728番地に創立しました。64坪の校舎に職員3名、児童数約100名でのスタートでした。その後、明治28年に黒江尋常高等小学校となり、明治42年に現在地（船尾236-4）に改築移転しています。

校区は、海南市の西部に位置し、和歌山市と隣接しています。北に船尾山、南には黒江湾を臨んでいます。校舎から約20m離れて国道42号が通るなど、街中の学校でもあります。古くから漆器の街として知られ、かつては半数近くの方が漆器や家具関係に従事していましたが、社会情勢の移り変わりとともに多様化しています。

なお、近くに、琴の浦温山荘や県立自然博物館、神社、市スポーツセンター、市保健福祉センター等があり、自然や文化等に触れられる場にも恵まれています。

また、本校では、昔から地域の方々の教育への関心が高く、学校教育に寄せる期待も大きいことから、学校における諸活動に対しても非常に熱心で、登下校時の見守り隊を始め、様々な形でご支援とご協力をいただいています。

児童193名（11学級）は、このように、伝統ある豊かな自然・文化環境と温かい地域の方々に囲まれて勉強や運動に取り組んでいます。ぜひ、このホームページで学校の様子などをご覧いただければありがたく思います。

教職員一同、基調「感動・勇気・笑顔 ～あったか黒江小～」並びに教育目標「生き生きと力を発揮する子どもの育成 ～よく学び、心やさしく、たくましく～」の達成を目指し、力をあわせて、子どもたちが活躍できる温かい学校づくりに取り組んでいます。

小学校時代につけてあげなくてはならない力とはどんな力なのかを見据え、子どもたち一人ひとりに愛情を注ぎ、かつ厳しく鍛え、そして子どもたちが自分の力で立派に生き抜いていける力を育てていきたいと考えています。

そのためにも、保護者や地域の皆様のご協力・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

平成28年4月

校長 木下 昌久